

策定の背景・改革継続の必要性

しなやか県庁創造プランの進捗状況

- 50の進捗管理指標のうち、46項目において数値が改善
- 数値目標を設定した15項目のうち、10項目において目標を達成（目標未達成5項目のうち3項目については、数値が改善又は達成間近）



- 「あいちビジョン2020」に位置付けられた政策は着実に進められており、プランの全体的な進捗としては概ね順調

〔 残りの計画期間で、全ての指標の改善、目標達成に向けて取り組んでいく必要 〕

プラン策定後の変化と改革継続の必要性

県政を取り巻く環境の変化

- ◆ 社会情勢の変化
少子高齢化、グローバル化、ICTの進展、働き方改革の広がり、大規模災害の頻発 等
- ◆ 政策の進捗に伴う変化
愛知県国際展示場の開業、ジブリパークの整備、アジア競技大会の開催準備、リニア開業に向けた地域づくり 等



改革継続の必要性

- 県財政の厳しい状況が継続する中で、環境変化に合わせて、政策課題や県民ニーズの変化に的確に対応していかなければならない
- このため、事務事業や資産等の必要性を検証し、効率的・効果的に経営資源を活用する必要
- また、時代の流れ、環境変化のスピードは早いことから、より一層迅速（スピーディー）かつ的確に対応を行う必要
- さらに、中期的な視点に立った規律ある財政運営を徹底し、一層の財政健全化を推進する必要

財政状況

- ・毎年度の当初予算編成における多額の基金取崩しが継続
- ・都市部の高齢化の進展に伴い、医療・介護などの扶助費は今後も増加が継続

次期行革大綱の骨格イメージ（案）

次期行革大綱の概要

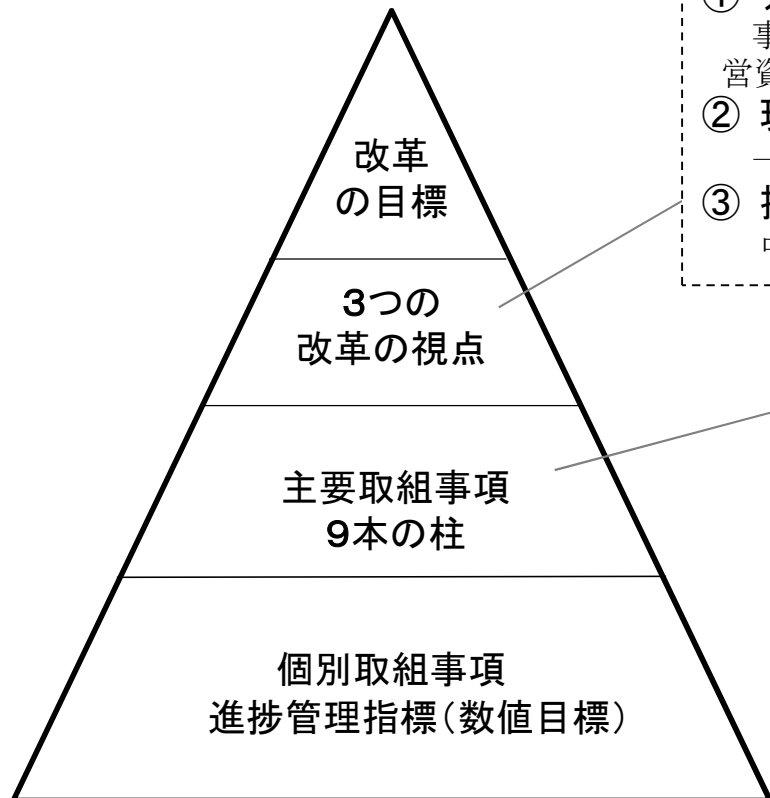
名称	（仮称）愛知県第七次行革大綱	※呼称、副題（キャッチフレーズ）は今後検討
策定趣旨	県の行財政改革についての中期的な目標、考え方を示すとともに、具体的な取組計画を定める。	
計画期間	5年間（2020～2024年度）	

1 改革の目標（目指すべき県行政の姿）

「日本一元気な愛知」づくりを推進する行財政運営の実現

時代の変化に的確に対応する「しなやか県庁」により、「あいちビジョン」に基づく地域づくりを切れ目なく下支えし、「日本一元気な愛知」づくりを推進する行財政運営を実現する。

2 改革の視点・取組の柱



① 効率的な経営資源の活用

事務事業や資産等の必要性を検証し、合理化・効率化を図ったうえで、一層効果的に経営資源（人材・資産・財源）を活用

② 現地・現物・現場目線の取組

一層迅速かつ的確に環境変化に対応していくため、現地・現物・現場目線の取組を推進

③ 持続可能な財政運営

中期的な視点に立った規律ある財政運営を徹底し、財政健全化を推進

1 事務事業の積極的な見直し

2 県有資産の活用

3 人材の育成・活用と働き方の見直し

4 組織の活性化と適正な人員配置

5 民間活力の活用

6 地方分権と自治体間の連携の推進

7 地域との連携・協働の推進

8 公営企業や第三セクター等の経営改善

9 健全で持続可能な財政基盤の確立